

別記様式（第4条関係）

会 議 録

会 議 の 名 称	令和6年度社会教育委員会（第1回）	
開 催 日 時	令和6年6月28日（金）15：30～17：15	
開 催 場 所	宍粟市役所4階402・403会議室	
議長（委員長・会長） 氏 名	委員長：福田 洋平	
委 員 氏 名	(出席者) 福田 洋平、田中 美由紀、前野 良造、丸山 記七郎、大垣 陽子、林 幸一郎、土井 景子、浅田 卓、城田 秀樹、岡西 進 (委任状出席) 谷口 朱美、田住 明大	(欠席者)
事 務 局 氏 名	大谷部長 (社会教育文化財課) 清水課長、原田館長、松尾係長	
傍 聴 人 数	なし	
会議の公開・非公開の 区分及び非公開の 理 由	<input checked="" type="radio"/> 公開・非公開	(非公開の理由)
報 告 事 項	(報告及び協議事項) ・委嘱書の交付 ・兵庫県社会教育委員協議会表彰 ・令和6年度社会教育文化財課等の組織について ・令和6年度社会教育関係主要施策・主要事業について ・令和6年度「宍粟の教育」について	
会 議 経 過	別紙のとおり	
会 議 資 料 等	会議次第、宍粟の教育 ほか	

(会議の経過)

発言者	議題・発言内容
委員	<p>1 開 会</p> <p>2 教育部長あいさつ</p> <p>3 委 嘱</p> <p>4 自己紹介</p> <p>5 兵庫県社会教育委員協議会表彰</p> <p>6 報告及び協議事項</p> <p>(1) 令和6年度社会教育文化財課等の組織について</p> <p>(2) 令和6年度社会教育関係主要施策・主要事業について</p> <p>(3) 令和6年度「宍粟の教育」について</p> <p>7 意見等</p> <p>宍粟市文化財保存活用地域計画に観光ルートへの活用について記載があるが、観光行政の中でこれまで文化財について活用されたことがほとんどないと思う。文化財も有形文化財だけでなく無形文化財もある。宇原獅子舞が万博や全国民俗芸能大会で発表される。宍粟市の民俗芸能をいっぱい発信してもらっているが、受け入れ態勢がないのが気になる。すぐに観光ルートへの活用は難しいと思うが、市内に民俗芸能を紹介する、あるいは実演で見れるといったことも必要なのではないか。</p>
事務局	<p>宍粟市文化財保存活用地域計画の策定委員の中にまちあるきガイドや観光協会、商工観光課長も入っている。そこからも意見をいただきながら進めていきたいと思っている。山崎では藤まつりにあわせて宍粟山崎手作り甲冑の会が活動されている。一宮では千町岩塊流が市の文化財に指定されており観光名所にもなっている。波賀では森林鉄道や森林セラピーを活用していきたい。千種ではたたら製鉄遺跡がある。それらも盛り込んでいきたいと考えているが、どこまで盛り込んでいけるかは各委員の意見を聴きながら進めていく。伝統芸能についてチャンチャコ踊りや宇原獅子舞以外の活動はコロナ禍以降かなり衰退している状況である。後継者がいないことや少子化が影響している。市は登録団体に毎年補助金を交付しており、その補助金を活用して道具等を修繕してもらいたい。宇原獅子舞は先進的な取り組みをされており、市としてもバックアップしていきたい。情報発信として宇原獅子舞の万博出演を市の広報及びホームページに掲載予定。文化財審議委員会へも周知する。</p>

委員	<p>文化、歴史について、宍粟市はいろいろな事業をされているが、環境についての学習が全国でもどんどん進んでいる中、宍粟市も自然環境について社会教育に取り入れていくべき。私は昆虫を中心に活動しているが、兵庫県レッドデータブックでは約 270 種類の昆虫のうち、宍粟市内には約 130 種類が根付いている。そういった貴重な生物が住んでいる場所を守っていきたく、歴史的な保存だけではなく、自然環境的な保存もすぐにとはいかなくても進めてもらいたい。また、小学生との川の調査でオオサンショウウオが出てきたことがあるが、オオサンショウウオを発見したときにどうすればいいのかということも周知していないと、種の保存が難しいと思う。自然環境とか生き物に対する周知ということも教育の中で取りあげていけないかと考えている。</p>
事務局	<p>自然環境教育の取組については市としてもサポートしていきたいと考えている。教育委員会の後援事業であれば案内等を出すことも可能。現在は電子化が進んでいるので保護者向けの連絡システム「すぐーる」を活用してお知らせすることも検討していきたい。</p> <p>オオサンショウウオについては市のホームページにも掲載しているが、なかなか小学生に周知するのは難しい状況。そのため数年前には山崎高校でオオサンショウウオの生態を学ぶパネル展示があり資料提供して周知を図った。オオサンショウウオは川の中にいる場合はそっとしておいてもらいたい。水路や道路にいるのを発見した場合は連絡していただいたら、社会教育文化財課で保護して県の担当者に連絡している。</p>
委員	<p>有形文化財の保存はお金等でなんとかなるかもしれないが、無形文化財の保存はいくら補助金を交付しても人がいなくなったらどうしようもない。盆踊りもコロナの影響なのかやめてしまった自治会も多い。そうなってくると自然消滅してしまう。今できている間にデジタル保存して市の施設で見れるようにするのも一つの手ではないか。学校と地域の連携で、学校を核とした地域づくりは昔からあったと思うが、少子化が進んで学校の統廃合で地域に学校がないところもかなり増えてきている。いかに地域と子どもがうまくつながりながら、そのなかで学ぶことも多いと思う。学校と地域のつながりというのを明文化するわけではないが、なにか答えが出てくれば将来的には子どもたちが地元に戻ってくることに繋がると思う。</p>
委員	<p>私の地域では 3 世代ふれあい交流というものがあった。小学生がもち米を植えて老人会の人たちがお世話して稲刈りをする。それをそれぞれの地区ごとに分かれて老人会と PTA と子ども会がもちつきを通して交流していた。そうい</p>

	<p>うのもコロナ禍でなくなってしまった。復活させようとして地域や PTA から発信しても文句が出て実現しない。学校から言ってもらえたらスムーズに進むのではないかと思う。</p>
事務局	<p>無形文化財での獅子舞は地域の消防団の人がやっていたが、担い手がないということで地域おこし協力隊を含めた各地の若者たちが練習して獅子舞をしたり、奉納相撲も都市部の若者たちが入っている。なかなか地域にいるメンバーだけではつながっていかないので、他地域や都市部の若者の力を借りるのもいいのかなと思う。</p>
委員	<p>獅子舞がロックバンドと共演したりするような新しい活動としてやっていくのも若者が興味をもつのではないか。既存の活動の範囲にとどまらないでいろんなことをやるのもおもしろいと思う。</p>
委員	<p>大人が楽しんでやると子どももそれにつられて楽しむようになる。地域にこだわらず大人が楽しんでやるというのも大事。</p>
委員	<p>社会教育につながる活動を各々されているが、その活動内容を共有できるシステムが現状ない。この年2回の会議ももちろん大事だが、もっと密に情報共有できるシステムがあってもいいんじゃないかと思う。</p>
委員	<p>生涯学習実践発表会で祭りの屋台のことを発表されていて、高齢者が中心になっていたが、子ども会が動いているということがあって、高齢者と子どもをつなぐ子ども会の大人には頑張ってもらいたいと思う。</p>
事務局	<p>いろいろなご意見ありがとうございます。無形文化財を記録に残す件で市の指定文化財については補助金制度がある。未指定の文化財については今回計画を策定する段階でそういった記録に残していくような形で何か補助できないか検討していきたい。地域と学校の連携事業について、市では放課後子ども教室や土曜チャレンジ学習を実施しているが、県は部活動の地域移行にも力を入れていくという方向で、放課後子ども教室の予算が減少している。市内の約半分の児童が放課後子ども教室に参加しているが、補助金が少なくなると回数が減ってしまう。ただ部活動の地域移行も今進めないといけない話ではあるので、両方が活動できる環境がいいのではないかと思う。また、米づくりの件だが、千種では小中高連携事業でされているが、全部の学校では難しい。社会教育の分野では学校からの発信も難しい。</p>

委員	<p>育てたもち米は各自で持ち帰って、残ったもち米は給食センターに分けている。田植え自体はやっている。コロナ禍に入る前は学校も参加があり、一人暮らしの老人のところへ高学年がもち米を届けに行っていた。</p>
委員	<p>今の学校教育で地域と協力して米づくり教育をやっている学校はあるのか。</p>
委員	<p>学校の統廃合が進む前は各学校で田んぼを借りて米づくりをしていたが、統廃合を境に校区が広がってしまったので、それぞれの校区へ行って、もちつきなどの活動ができにくくなってしまった。</p>
委員	<p>統廃合が進んだことで地元の学校に行きづらくなったと感じる。それをいかにオープン化していくというか、地域と連携してというのが社会教育の役割であると思うし、交流がないと何も生まれないので、そこに力を入れてほしい。</p>
委員	<p>城下校区も統廃合になるが、ボランティアの間で卒業制作で作ったものはどうなるんだろうといった話になった。卒業生が学校に行ったときに制作物がなくなってしまうたら辛いと思う。廃校になってしまった学校を当時通っていた生徒たちの思い出もたくさん詰まっているので、そういう場所をもっと生かせるようなことをこの場で出た話が、その場所ですることができるようにつなげてほしいと思う。図書ボランティアでも放課後子ども教室でも保護者が関わるのがすごく少なくなってきたのが寂しいと思う。全ての世代が社会教育の部分では通じていることを知ってもらえたらと感じる。</p>
	<p>8 その他 事務局より事務連絡、今後の予定ほか。</p>
	<p>9 閉 会 副委員長</p>
	<p>17時15分 終了</p>